

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 27号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」(通称: 元気ムラ応援サイト)で紹介している地域活動を、より多くの皆様に紹介するために発行しております。

●発行日: 令和3(2021)年6月15日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitter アカウント
→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

近隣地域の方々を対象にした薪づくり体験♪



梅内地域(能代市)

白神山地の麓にある梅内地域。男性陣は薪づくり体験やチェーンソー講習会を行い、女性陣は山菜を首都圏に出荷するなど、コロナ禍でも様々な活動を行っています。

今回は、そんな梅内地域の活動をご紹介します。



←山菜採りに向かう女性陣

コロナを
きっかけに

「オンライン」にチャレンジ!!

最初は慣れなかった オンライン

しゅうらく

梅内聚落の代表・安井重雄さんと役員の野呂勝彦さん。今年2月、能代市地域おこし協力隊主催のオンライン勉強会に参加し、初めてパソコンの画面越しに地域外の人と会話をしてみました。



安井さん(左)は画面を見ながらの会話にとまどったそうですが、オンラインを地域に取り入れる必要性を感じたと言います。

地域外の人と関わる活動が増えて

きていた中でのコロナ禍。当初は「オンライン?今更取り付きにくいな～」と感じたそうですが、今までのようにあちこちに視察に行くこともでき^{ワイファイ}ません。「今後は聚落会館にWi-Fiやパソコンを設置して、他の地域と交流していきたい」と話します。

人とつながることで 新しい発見がある



また、野呂さん(左)は地元観光協会でも力強い体験を行っていたので、これまでの動画等をまとめ、「オンライン体験」という商品にして、実際

に販売しました。

野呂さんは「地域おこし協力隊など、アドバイスしてくれる人がいたおかげで形にできました。自分だけだと一人よがりになるが、人の感想を聞くことで新しい発見もある」と話します。

このご時世、「これならできる」ということを見つけることが大事です。梅内地域のように、人とのつながりが新しい活動のきっかけになるのかもしれません。

.....

梅内地域の方々が地域活動をアップしているホームページは右のQRコードから見られます



ポイント

他の地域と交流したいけど、コロナで現地訪問するのは怖い...という方も多いはず。でもオンラインなら、県内はもちろん、県外の方とも話すことができます。「難しそうだな」という先入観は捨て、「楽しみ」になるようなオンライン交流ができればいいですね。

コロナ禍の 地域活動

今までどおりの地域活動ができないご時世ですが、
みんなの知恵を出し合えば、できることが見えてきます。
今回は 3 地域の取組をご紹介します。

東能代地域(能代市)



子供たちのための 桜並木フェスティバル♪

「東能代桜並木フェスティバル」は、屋台が立ち並び、住民の民謡、踊りが披露される東能代の恒例イベント。例年 1,800 人の来場者で賑わいますが、昨年は感染防止のため中止に。

「2 年連続で中止すると、地域から祭りが無くなってしまう。子供たちのためにも開催したい」という声もあり、発表団体は幼稚園、中学校の 2 団体に絞って開催。屋台も中止し、来場者は約 300 人でしたが、青年部が地元の特産を景品に準備し、楽しむ工夫をこらしていました。



景品の白神ねぎを配る青年部の皆さん↑

半道寺地域(大仙市)



地域に伝わる料理を みんなで作ろう♪

地域の交流の場「半道寺三世代交流会館」で世代間交流を深めようと行事を開催してきた半道寺地域。「料理教室」もその一つです。

昨年、コロナ禍でやむなく中止しましたが、今年の 3 月、婦人部が再開しました。

感染対策を施し、料理は持ち帰りに限定。「久しぶりに皆と話ができで楽しい。何よりみんなの顔が見たかったんだ」と、住民同士の繋がりづくりの場を大切にできた地域の色が濃く出ていた料理教室となりました。



今年は「おやき」を作りました↑

岩崎地域(湯沢市)



鹿島様のワラを 恵比寿俵の講習会に♪

毎年冬の「初丑まつり」で神社に奉納する恵比寿俵。高齢化により作り手の減少が懸念され、この冬、12～2 月にかけ、全 3 回、恵比寿俵作りの講習会を開催しました。昨年、「鹿島様」の衣替えが中止になり、ワラが大量に余ったことも講習会を開くきっかけになりました。

今年は豪雪で除排雪に追われ、予定どおりに進まなかったものの、全行程の技術の伝承が完了。講習会の一通りの流れと部品の作り方を映像に収め、各町内にも配られる予定です。



講習会で完成した恵比寿俵→

活 動 の ヒ ン ト

どうすれば「できる」?

3 月 21 日(日)、県主催の「集落活動担い手ネットワーク研修」で、新潟県村上地域を拠点に活動する「NPO 法人都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター」の斎藤主税氏にオンラインで講演してもらいました。

研修では、「コロナ禍で、NG(できないこと)を列挙するのではなく、どうやれば OK か、自分たちで考えることが重要。『万が一を考えて…』と全部中止にするのではなく、どんなリスクがあるのかを調べて考え、その上



人を分散して開催した研修会

で判断することが大事」と話されていました。できたことの積み重ねが経験値となり、今後の地域活動の自信に繋がっていくのではないのでしょうか。

地域づくり推進課の活動

地域づくり推進課 課長
萩原 尚人



元気ムラの皆様へ(ごあいさつ)

皆さま、はじめまして。これからよろしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、秋田県においても活動の縮小や見直しを余儀なくされている地域が数多くあります。

その一方で、若い世代を中心に地方への関心が高まるなど、日々の暮らし方に対する人々の考え方に変化も見られるところです。

当課では、こうした世の中の変化を意識しながら、活動

へのアドバイスや事例の紹介など、皆さまの地域づくりをお手伝いしていますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

一緒に、「できること」から、再び歩みを進めていきましょう。

あきた元気ムラ大交流会の開催について

毎年9月上旬、「あきた元気ムラ大交流会」を開催していますが、昨年度はコロナ禍の影響により中止しました。

今年度は感染対策を十分に行いながら、規模を縮小し、9月

4日(土)に、にかほ市において開催予定です。

※県内の感染状況によっては、中止となる可能性もあります。詳細は決まり次第、お知らせします。



鳥海山の麓、日本海に面したにかほ市で地域の元気づくりについて考えましょう！

今年度は大阿仁、川上、岩館の3地区でコミュニティ生活圏形成事業を実施！

県では、人口減少や少子高齢化が進行する中、集落の日常生活に必要なサービス機能を維持・確保していくため、新たな生活圏(コミュニティ生活圏)の形成を目指しています。

令和1～2年度は、計11地区で現地調査やワークショップを開催しており、今年度は新たに3地区のモデル地区において、活動を行っていきます。

令和3年度モデル地区

大阿仁地区(北秋田市)

川上地区(小坂町)

岩館地区(八峰町)

将来の人口シミュレーションを行うなど、住民の方々自らが地区の将来について考えるワークショップや報告会を開催します。

元気ムラの関係人口

画面越しでも集落の魅力は伝わる♪

2月20日(土)、「関係人口(※)」づくりの一環で、首都圏、関西圏の方々との4つの集落の皆さんとオンライン交流会を開催しました。

集落の魅力を感じるには、直接現地を訪れてもらうのが一番ですが、

難しいご時世です。

しかし、関係人口の目的は、人のつながりを作ること。現地訪問は無理でもオンラインでは交流できます。事前に集落の特産品を送り、活動の様子を動画で見てもらいました。交

参加者へのプレゼントは
原木なめこ、長いも、
わらび粉キット、コースターの
集落の魅力詰め合わせセット♪



流会後の感想では「コロナが落ち着いたら、是非集落に行きたい」という方も。コロナが落ち着くまでの間、今、できることを積み重ねていくといいですね。



※地方に移住した「定住人口」でもなく、観光で訪れた「交流人口」でもない、「観光以上移住未満」の立場で地域活動に関わる人を「関係人口」と呼んでいます。

地域から
元気を
発信!!

地域からの メッセージ No.26

田植え時期の上笹子地域



かみじねご
由利本荘市・上笹子地域
佐藤弘志さん

上笹子地域には約 70 年前に製作された立体地図があります。当時の笹子中学校の校長先生が製作したもので、かなり精巧な作りでした。

小、中学校の授業で活用されていましたが、学校の閉校により、しばらくの間、笹子学習センター内に眠っていた立体地図。

この学習センターは、解体される予定になっており、このままでは、立体地図がなくなってしまうと思った佐藤さん。その想いを新聞の読者欄に投稿したことがきっかけで、笹子公民館での保存が決まり、移動が完了しています。

上笹子地域は山菜、キノコの宝庫。以前は、春には山菜、秋にはキノコ祭りを開催し、地域内外から沢山の人が集まっていたのですが、コロナの影響

笹子地域が一目瞭然！
地域に残る『立体地図』



等高線に沿って切り抜いた板を重ねて貼って作られた立体地図。一度補修が入り、シリコンゴムで型を取り、FRPという強化プラスチックで復元されています。

響により、地域の行事が開催できない状態が続いていました。しかし、何となく黙っていても先に進みません。

佐藤さんは「笹子には伝統文化や歴史を刻む神社が多くある。けれどもこれらを知らない人が多い、これを次世代にも継承していきたい。そのためには立体地図を有効利用しないと!」「地域外の方との会話の弾みにもしてほしい!」と、詳細な表記を地図の中に記載する活動へと動き出しています。



立体地図は
笹子公民館で
見るができます。

この立体地図を通じて、訪れる地域内外の方々に笹子を深く知っていただけたら、なお、嬉しいです(^ ^)

元気ムラの味

寒天 かんてん

食卓やお茶っこだで登場する「寒天」。なんでも寒天で固める秋田の食文化として SNS などでも注目度が上がっています♪

元気ムラ各地の寒天。味のバリエーション豊富です♪



枝豆寒天
(大仙市・半道寺)



サラダ寒天
(三種町・上岩川)



りんご寒天
(横手市・亀田)



ばっけ寒天
(湯沢市・内町)

編集後記

最近、元気ムラ支援班に「寒天」の問い合わせが増えています。元気ムラのホームページには、各地域で撮影した寒天を掲載していますが、「作れる人を紹介して欲しい」「秋田で寒天はどんな時食べるのか?」などなど、特に県外からの問い合わせが多いです。今年は寒天が注目される年になるのでしょうか?

元気ムラ通信のご感想・ご意見も
お待ちしております!

【発行】秋田県 あきた未来創造部 地域づくり推進課 (元気ムラ支援班)

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王 4 丁目 1-1 ●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp